

事例 8

～ JOGMEC 債務保証と補助金を活用した事業化～ 土湯温泉16号源泉バイナリー発電事業

■事業及び発電設備の概要

既存の温泉源泉である16号源泉から湧出する蒸気および熱水を使用し、発生させた電力を固定価格買取制度を利用して販売する用に供するため、発電端で400kW、送電端で350kWを発電できるバイナリー発電装置を導入する。

工事開始：H26.4.1 工事終了：H27.9.30

発電場所：福島市土湯温泉町陣場1番1地内

発電事業者：つちゆ温泉エナジー(株)

発電システム：オーガニックランキンサイクル方式

設計施工：JFEエンジニアリング(株) 地熱発電部



■事業実施上の課題

① JOGMEC 債務保証

多額の事業費に対し資金調達（債務保証含）が必要であった。債務保証の申請にあたり、地熱発電の知識不足により書類作成等に約一年を有した。

② 許認可の問題

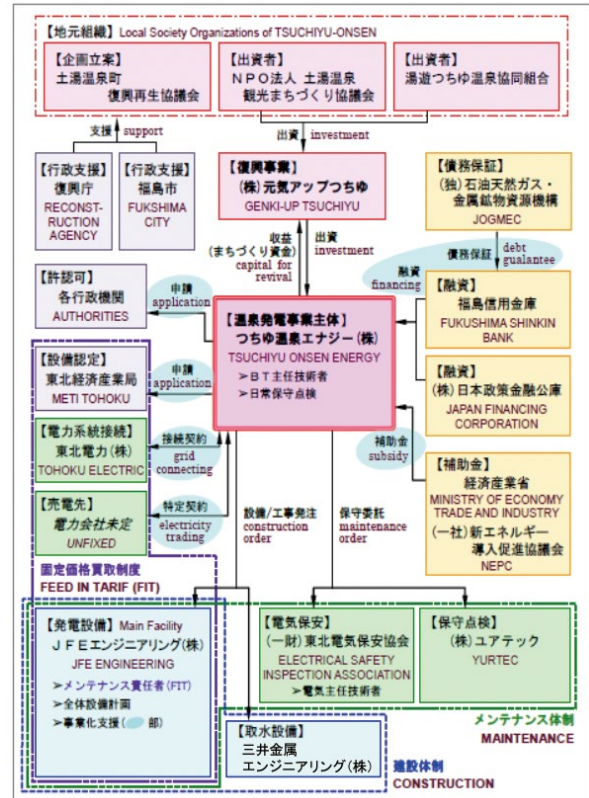
先行事例が少なく想定できない課題が生じたため、許認可取得に時間を要した。

③ 合意形成

温泉組合等の地域合意形成を丁寧に進める必要があった。



■事業の実施体制



注) 上図は、創業時の実施体制図である。

■利用した施策と内容

「地熱資源探査出資等事業」による JOGMEC の債務保証（民間融資額の80%）と、NEPC の「再生可能エネルギー発電設備等導入促進支援対策事業（補助率1/10）」

■施策を利用したことによる事業の成果

債務保証および補助金を活用することにより、金融機関からの資金調達がスムーズになった。事業が進むにあたり他事業者等の視察が増加し、温泉街の観光への波及効果が現れてきている。

■問い合わせ先

株式会社 元気アップつちゆ
つちゆ温泉エナジー株式会社
住所：福島市土湯温泉町字下の町17
URL：<http://www.genkiuptcy.jp/>